

製品名: ニューロブシンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14623**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	OPN5
別名	OPN5; GPR136; PGR12; TMEM13; Opsin-5; G-protein coupled receptor 136; G-protein coupled receptor PGR12; Neuropsin; Transmembrane protein 13
遺伝子 ID	221391.0
SwissProt ID	Q6U736
免疫原	抗血清はヒト OPN5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

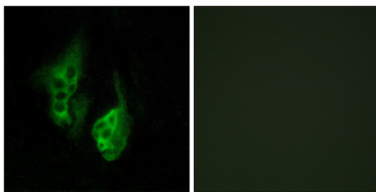
オプシンは、グアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）共役受容体スーパーファミリーのメンバーです。このオプシン

遺伝子は、眼、脳、精巣、脊髄で発現します。この遺伝子は、ペロプシン (RRH) と網膜 G タンパク質共役受容体 (RGR) を含む、哺乳類オプシン遺伝子の 7 エクソンサブファミリーに属します。これらの他の 7 エクソンオプシン遺伝子と同様に、このファミリーメンバーは光異性化酵素活性を持つタンパク質をコードする可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010 年 6 月];注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。、PTM: Cys-315 または Cys-316 のどちらがパルミトイル化されているかは不明です。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。オプシンサブファミリー。組織特異性:脳と網膜、および神経網膜由来の細胞株で検出されます。

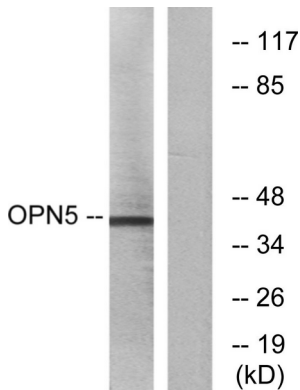
研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞外マトリックス; ECM 酵素; カリクレイン; がん; 浸潤/微小環境; カリクレイン; 細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; タンパク質分解酵素; セリンプロテアーゼ

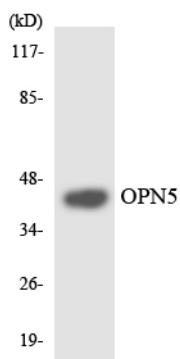
画像データ



OPN5 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



OPN5 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OPN5 抗体を使用した HUVEC 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

ニューロプシンポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

